

玉垂

たまだれ
No.21

雨あがりの宮川沿いの紅葉（平成19年11月28日）

<http://www.okunijinja.jp/>

年の瀬を迎えて

今秋の紅葉は多少遅れましたが、十一月二十三日の新嘗祭の頃より見頃となりました。葉の色づきが日毎に変わる様を、今年ほど感じた年はありませんでした。また、この時期には稀な雨が降りましたので、いつもの紅葉とは違った楽しみ方が出来たのかもしれない。宮川の紅葉が赤色ではなく黄色に染まった景色が短い期間でしたが楽しむことが出来ました。これも数年に一度あるかないかのことでした。

毎年六月に斎行されます神饌田の御田植祭ですが、本年は森町教育委員会主催の「民俗芸能・民俗行事公開大会」としても実施されました。当日は町関係者や旭が丘中学校の皆様にご協力戴きましたことに改めまして感謝申し上げますとともに、明年以降も民俗行事の体験及び継承に深いご理解を戴きますようお願い申し上げます。

さて、御鎮座千四百五十年記念事業ですが、第二期の「社務所の増築工事」が完工いたしました。舞殿及び舞楽舎の松皮葺の屋根替えと欄干等の修復、参集殿の改築に引き続きの事業でありましたが、予定通りに工事は経過し無事終了することが出来ました。この竣工により新社務所にて初めてのお正月を迎えることが出来ますので、今まで以上に利便性を高めるべく熟考の上使用して参る所存であります。氏子・崇敬者の皆様方には心温まる御奉賛を賜っておりますこと重ねて厚く御礼申し上げます。来年からは最終事業に取りかかりますが、今後引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

師走の初旬には今年も神宮参拝団旅行が実施されました。毎年森町からは二百名弱の参加者があります。平成二十五年の秋に斎行される「第六十二回神宮式年遷宮」に向け更に気運を高めて参ります。今年も早いもので余すところあとわずかとなりました。平成二十年の干支は「戊子」（つちのえね）ですが、子年は当社にとって縁年となります。氏子・崇敬者各位におかれましては、良い新年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

社務所増築工事の竣工

御鎮座千四百五十年記念事業の第二期として進めてまいりました「社務所の増築工事」がお陰をもちまして無事に竣工いたしました。建設地の整備、手水舎の移転を終え、昨年十一月に地鎮祭を斎行し基礎部分に着工、本年三月に上棟いたしました。その後も工事は順調に進捗いたし、去る十月九日に募財委員会の皆様にご参列を戴き、竣工奉告祭を斎行し清め祓いを執り行いました。昨年八月に改築部分が完工し事務機能が移転したのに続き、この完成によりまして社務所機能は完全に移転となります。新社務所では正式参拝・結婚式の控室としての対応及び各種会合の開催等、多岐にわたり活用していく予定であります。



正面玄関（参道側）



西側



南側



応接室



和室



社務所から参集殿への連絡通路



会議室

新嘗祭の斎行・ 奉納農産物品評会の表彰

境内の紅葉が色付いた十一月二十三日、新嘗祭が斎行されました。

当日は天候にも恵まれ、ご神前には氏子の皆様よりご奉納いただきました農産物をお供えして、大神様に本年の豊穣をご奉告し感謝申し上げます。

また、舞殿横では当社振興会の主催によります恒例の奉納農産物品評会が開催されました。

五十一回目を迎える本年は、三七一点もの出品をいただき、新嘗祭斎行後の即売会も大盛況のうちに完売することが出来ました。

ここに受賞された方々をご報告させていただきますとともに、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

〈協力賞〉

- 第一位 牛 飼 部農会
- 第二位 上川原 部農会
- 第三位 中川上 部農会
- 第四位 円田上 部農会
- 第五位 宮代西 部農会



奉納農産物の販売

〈小國神社賞〉

- 米 円田上 鈴木 紀雄
- 白菜 宮代東 大場 正一
- 大根 中川上 伊藤 誠
- 生姜 宮代東 高木 千秋
- 治郎柿 円田下 北島 恵介

〈遠州中央農業協同組合代表理事賞〉

- 米 上川原 野口 富彦
- 大根 宮代東 大場 正一
- レタス 谷 中 岩満 武志
- 里芋 大久保 栗田 操
- 治郎柿 谷 中 朝比奈弘子

〈小國神社振興会賞〉

- 米 中川上 鈴木 定男
- 白菜 赤 根 筒井 丑丸
- 大かぶ 牛 飼 村松伊佐雄
- 生姜 宮代西 角ヶ谷武治
- メロン 米 倉 平田 秀幸

〈特等賞〉

- 米 宮代西 鈴木 功
- 薩摩芋 谷 崎 萩原 幸男
- 馬鈴薯 中川上 伊藤 誠
- 豆 中川上 岩瀬 俊夫
- キウイ 中川下 山本 啓仁

〈特別賞〉十六点出品 牛 飼 村松伊佐雄 (敬称略)



奉納の森町特産「治郎柿」

篤志奉納者に感謝状の贈呈

年間を通し篤志により貴重な物品等をご奉納いただきました方々に、新嘗祭において感謝状及び記念品の贈呈をいたしました。

本年は神饌米のほか社務所増改築完工に伴い、神道政治連盟の宮崎義敬会長より萩焼の焼物、書家の杭迫柏樹様より書一幅、また施工に携わった三社よりDVDレコーダーをご奉納賜りました。

ここにご芳名を記載し、改めて厚く御礼申し上げます。

- 萩焼焼物 宮崎 義敬(山口県)
- 書一幅 杭迫 柏樹(京都府)
- DVDレコーダー (有)大寶建設(円 田)
- (有)政和電気(森 町)
- (有)富士鉄工(円 田)
- 神饌米 松尾 要(一 宮)
- 神饌米 鈴木 照男(円 田)
- 神饌米 永田 佐吉(一 宮)
- 神饌米 永田 光司(草ヶ谷)
- 神饌米 萩原 幸男(一 宮)

(順不同・敬称略)



萩焼の焼き物

宗像社の修復

事待池の竹生島に鎮座します宗像社の修復を実施いたしました。

現社殿は、昭和三十二年に改築工事をいたしてより五十年の長きに亘り、雨風等にさらされ各所に傷みが生じたため、基礎の改修・木部の取り替え・社殿の塗り替え等の工事をいたしました。

着工にあたり古儀に倣い仮殿遷座祭を十月一日に斎行し、竣工に至っては十月二十一日に正遷座祭の斎行を以て修復工事を完了いたしました。

社殿に塗られたベンガラ(紅殻)の鉄さび色も、年月とともに朱に色を変えていくそうです。



宗 像 社

紅葉まつりの開催

今年の紅葉は暖冬により例年に比べ一週間ほど遅れましたが、宮川の上流部より赤・黄・オレンジと色鮮やかに染まり十二月上旬まで楽しめました。十一月二十五日、見頃を迎えた境内において恒例の紅葉まつりを開催いたしました。天候にも恵まれ早朝より多くの参拝者が訪れる中、舞殿におきまして琴の奉納演奏、旧社務所斎館や宮川沿いでは野点が行われました。また参拝者休憩所では甘酒をお楽し



お琴の奉納演奏（望月社中）



紅葉まつりの野点（山下社中）

みただき、門前においては森町茶商組合によるお茶の接待・販売がなされ、宮川沿いのメインスポットである赤い太鼓橋付近では当社敬神婦人会によるおしるこが振る舞われました。参拝者に好評の「森のカフェテリア」また、大きなシヤモジが目印の「一宮米店」の出店があり終日賑わいました。境内を彩る紅葉はまぶしいくらいに輝き、様々な風景は秋の深まりを感じさせてくれました。夜間のライトアップは、美しさの中にも荘厳な趣がありました。



御鎮座千四百五拾年記念事業

御奉賛者御芳名（六）
（順不同・敬称略・平成十七年一月一日〜平成十九年十二月十二日迄）

※記載額は奉賛金の総額となります

〈特別奉賛者〉

壹百萬圓以上

ザ・オレストカントリークラブ
京都奉製(株)
正田 聡

〈一宮・橘地区〉

参 萬 圓以上

匿 名

〈園田地区〉

壹拾萬圓以上

安間 敬
飯田 勝明
佐野 泰雄
村松 孝

参 萬 圓以上

山本 正尚
野末 文生
相羽 虎雄
神谷 幸光
神谷 昭一
村松 輝繁
大城 元春
赤堀 行治
安間 潤一

村松 帝

飯田 明宏

松下 浩次

安間 和義

久保下和義

天野 寛

神谷 康夫

山本 真充

山下 昌彦

畑山 正弘

柴本三三雄

村松三喜男

壹 萬 圓以上

伊藤 寿彦

佐藤 盛

〈諸団体及び崇敬者〉

伍拾萬圓以上

(株)海商 船坂 章

参拾萬圓以上

雪島喜久子

壹拾萬圓以上

桑原 勝郎

(株)リビングサンアイ

浅井 弘

(株)伊勢屋袋井営業所

角ヶ谷 雄治

服部 妙子

参 萬 圓以上

森越 義建

中村 直樹

川崎 信也

匿 名

村上 晃啓

壹 萬 圓以上

山下總太郎

日野 徹

水野 敬潤

(株)戸谷組 戸谷 繁男

丸山美美子

丸山 香

丸山 慶

吉野とり子

松井万寿夫

(有)渡瀬軽金属

夏目 秀樹

菅沼 義春

中村 星

神谷 年広

亀甲 政代

総代会研修旅行の実施

九月五日より七日にわたり総代会の研修旅行が近畿地方にて実施されました。

初日は、和歌山へ向かいました。残暑厳しい中ではありましたが、まず急勾配の階段を上った先にある紀三井寺を拝観し、次いで林業の信仰の篤い伊太祁曾神社にて正式参拝を行い、新和歌の浦に宿泊いたしました。翌日は、大阪の四天王寺を拝観し、なんばグラウンド花月にて演芸を堪能した後、初えびすで有名な西宮神社を参拝いたしました。最終日は、宿泊した有馬より淡路島へ渡り阪神・淡路大震災の被害が未だ見受けられる伊弉諾神宮にて正式参拝を行い、国生み神話をもつこの神社を参拝し帰路につきました。

今年度で現総代会の皆様の任期が満了となりますが、有意義な思い出となりより親睦も深められたことと思います。



伊太祁曾神社正式参拝（9月5日）

七五三詣りの風景



拝殿前にての記念撮影の様子

菊花展の開催



森町菊盛会による菊花展

命 名

平成十九年六月一日

平成十九年十一月三十日

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 鈴木 | 赤堀 | 山口 | 大石 | 大久保 | 山下 | 鈴木 | 金子 | 鈴木 | 望月 | 薬科 | 小澤 | 藤原 | 川上 | 菅沼 | 戸田 | 山田 | 山下 | 鈴木 | 白岩 | 竹中 | 安藤 | 八木 | 内村 | 白坂 | |
| 捺心 | 綾音 | 優結 | 聖也 | 保陽向 | 恵実 | 悠真 | 愛 | 庵里 | 倭希 | 琉嬉 | 倭和 | 陽翔 | 綾斗 | 雄之輔 | 帆乃香 | 華子 | 怜奈 | 一聖 | 凜華 | 奏良 | 樹里 | 穗香 | 連 | 千恵 | |
| 磐田市 | 菊川市 | 菊川市 | 御前崎 | 袋井市 | 磐田市 | 掛川市 | ベルギー | 浜松市 | 森 町 | 島田市 | 静岡市 | 森 町 | 袋井市 | 浜松市 | 森 町 | 菊川市 | 掛川市 | 磐田市 | 菊川市 | 浜松市 | 袋井市 | 愛知県 | 袋井市 | 浜松市 | |
| 堤 | 渥美 | 深尾 | 長谷川 | 松井虎太郎 | 朽木 | 永澤 | 鈴木 | 田島 | 大石 | 鈴木 | 石川 | 加茂 | 鳥羽 | 鈴木 | 井村 | 曾根 | 村松 | 寺田 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 | 大場 | 松島 | 柏原 | 吉筋 |
| 陽詩 | 智葵 | 航大 | 悠人 | 文哉 | 侑奈 | 瑛帆 | 瑛帆 | 健太 | 黄史 | 心乃 | 美月 | 勇伊 | 晃生 | 海音 | 泰地 | 泰地 | 優 | 百花 | 悠睦 | 湖蘭 | 聖哉 | 梨緒菜 | 天鞠 | 夢生 | 泰千 |
| 浜松市 | 浜松市 | 掛川市 | 森 町 | 東京都 | 森 町 | 森 町 | 浜松市 | 菊川市 | 吉田町 | 森 町 | 袋井市 | 浜松市 | 袋井市 | 菊川市 | 磐田市 | 森 町 | 浜松市 | 磐田市 | 浜松市 | 掛川市 | 袋井市 | 袋井市 | 磐田市 | 東京都 | 森 町 |



伊勢神宮参拝団周智支部（森町分会）

○当社は、お子様の命名を申し受けております。

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 佐藤 | 村松 | 瀧 | 萩原 | 高森 | 山岡 | 早馬 | 杉山 | 谷口 | 清水 | 山崎 | 荒木 | 長尾 | 安西 | 松井 | 鈴木 |
| 康晴 | 侑磨 | 将真 | 史来 | 雄大 | 奏斗 | 幸 | 侑津季 | 茉央 | 里紗 | 梨瑚 | ひろの | 優衣 | 陽田 | 唯人 | 瑞葉 |
| 磐田市 | 磐田市 | 菊川市 | 掛川市 | 袋井市 | 浜松市 | 御前崎 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 磐田市 | 静岡市 | 袋井市 | 袋井市 | 菊川市 | 御前崎 |

新春祈禱のご案内

平成二十年の新春団体祈禱を例年通りご奉仕いたします。
 当日の受付は混雑が予想されますので、年内の予約受付をご利用ください。
 尚、個人のご祈禱は当日受付にて毎日ご奉仕いたしております。
 ご家族お揃いでご参拝くださいますようお願い申し上げます。



どんど焼祭（平成20年は1月20日（日）に斎行）



御弓始祭（平成20年1月17日（木）午前10時斎行）

一、予約対象 会社及び個人事業者
 一、申込方法 電話またはFAX等にて申し受けます。
 一、ご相談、ご不明の点がありましたら、左記までお問い合わせください。
 小國神社 新春祈禱予約係
 TEL ○五三八一八九七三〇二
 FAX ○五三八一八九七三六七

一平成20年 厄年表一

男	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和24年 60才	昭和23年 61才	昭和22年 62才
性	昭和43年 41才	昭和42年 42才	昭和41年 43才
	昭和60年 24才	昭和59年 25才	昭和58年 26才
女	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和48年 36才	昭和47年 37才	昭和46年 38才
性	昭和52年 32才	昭和51年 33才	昭和50年 34才
	平成3年 18才	平成2年 19才	昭和64年 平成元年 20才

厄除大祭のご案内

人生の節目に当たる厄年は、健康、仕事、私生活などあらゆる面で儼にないやすい年頃といわれ、無事を願う気持ちは今も昔も変わりません。
 小國神社では一月二十日より二月三日まで厄除大祭を執り行います。特に平成二十年の厄年に当たる方は、「厄除」のご祈禱をお受けになり、健やかな日々の生活をお過ごしください。
 尚、二月三日は混雑いたしますのでお早めにお越しくださいますようお願い申し上げます。
 ○祈禱料 五、〇〇〇円より
 ○厄除大祭神札及び御守を授与いたします。
 ○祈禱受付 午前九時〜午後四時



岩露の開花（渥美忠男氏奉納）

まつり歳時記

十二月～三月

十二月 師走

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 滝宮社例祭 (午前十時)
- 十八日 初穂献納祭 (午前十一時半)
- 二十二日 鎮火祭 (午後三時)
- 二十三日 天長節祭 (午前九時)
- 二十五日 煤払祭 (午後一時)
- 三十二日 大祓式・除夜祭 (午後三時)

一月 睦月

- 一日 初祈禱祭 (午前零時)
- 一日 歳旦祭 (午前三時)
- 二日 供始祭 (午前八時)
- 三日 元始祭・追儺祭 (午前八時)
- 三日 田遊祭 (午後一時)
- 六日 本宮山例祭 (午前十時)
- 七日 昭和天皇祭遙拝式 (午前八時)
- 七日 神明宮参拝 (午前九時)
- 十一日 手鉞始祭 (午前九時)
- 十四日 寒の丑日水汲祭 (午前二時)
- 十七日 八王子社例祭 (午前九時)
- 十七日 御弓始祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 どんと焼祭 (午前九時半)
- 二十五日 甲子祭 (午前九時)
- 二十日 二月三日 厄除大祭

二月 如月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 節分祭世話人祈禱祭 (午前十一時)
- 三日 節分祭 (午後二時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十一日 紀元祭 (午前十時半)
- 十五日 家社飯王子社白山社例祭 (午前九時)
- 十五日 塩井神社例祭 (午前十時)
- 十八日 祈年祭 (午前十時)

三月 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
 - 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
 - 十七日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
 - 十七日 鉞執社例祭 (午後一時半)
 - 十八日 月次祭 (午前九時)
 - 二十日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
 - 二十五日 初甲子祭 (午前九時)
- 〔例祭日程のお知らせ〕
- 四月 十七日 前日祭 (午前十時)
 - 十八日 例祭 (午前十時)
 - 十九日 舞楽奉奏 (午後二時)
 - 二十日 舞楽奉奏 (午前十一時)
 - 二十日 神幸祭 (午後二時)

師走の大祓

十二月三十一日午後三時より師走(年越)の大祓式を斎行いたします。

大祓とは、日々の生活の中で皆様が気付かぬうちに、心や体についた罪やけがれ、災厄や不浄なものを身代わりとなる人形(形代)に移し、清らかな姿に立ち返るようお願い、川に流して祓い清める神事のことをいいます。

当日、ご参列いただければ神職ともにお祓いをお受けいただけますので、是非ともご家族の皆様お揃いでお申し込みの上、ご参列いただきますようお願いいたします。

尚、大祓の人形は一ヶ月前より、ご祈禱をお受けいただきました方々に、または社頭にてお頒けいたしております。ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。

皆様と一緒にお願いをして、清々しく新たな気持ちで新年を迎えましょう。

小國神社社務所 大祓係
TEL 〇五三八一八九一七三〇二
FAX 〇五三八一八九一七三六七



大祓詞の奏上 (12月31日)

古代の森シリーズ 21

「事待池」

事待池は当社の別名「事待神社」に由来する名称で、参道の中程にあります。池のほとりには末社「宗像社」と「八王子社」が鎮座されています。この池には古い風習があり、当社に願い事をし、その願いが叶うと返礼として池に鯉を奉納します。また、「イボトリ池」とも称し、イボができたときに池の水をつけるとイボがとれるといわれ今日でもその効能が説かれています。

池の水は宮川や清水によって循環されきれいな水質を保っていますが、池底の枯れ枝などを除去するため定期的に振興会青年部によって清掃がされます。



事待池



ファッションデザイナー・小川彰子さんご参拝（11月3日）



奉納農産物即売の精算（11月23日）

振興会の活動



参拝者へお汁粉のおもてなし（11月25日）

敬神婦人会の活動



県市町村対抗駅伝競走大会出場の森町代表団が必勝祈願（11月25日）



新社務所横の南天（12月15日）



皇學館大学神道学会正式参拝（10月27日）

平成十九年十二月二十日
 「玉垂」(たまだれ) 第二十一号
 題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆
 発行 小國神社社務所
 郵便番号 四三七一〇二二六
 住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
 電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二
 FAX 〇五三八(八九) 七三六七
 印刷 (株)デザインオフィス エム・エス・シー

表紙写真について

平成十九年十一月二十八日(水)午後一時三十分から宮川沿の紅葉を撮影いたしました。朝から小雨が降っておりましたが昼頃にはあがり、紅葉の時期には稀な静けさの中での撮影でした。十一月二十六日頃よりの紅葉の色付きの変わり方は、近年では一番早く進んだと思われれます。

〇例年の写真コンテストは本年実施より明年五月中旬が応募締切となり、七月上旬に森町文化会館にて写真展を開催いたします。多数の力作をおまちしております。

〇「玉垂」二十一号をお届けいたします。社務所増築工事竣工のご報告をさせて頂きました。新しい建物を有効に使うために、様々な試みをして確実に成果をあげていきたいと思っております。

〇当社敬神婦人会の活動であります「お汁粉のおもてなし」も今年で四回目となりました。材料の小豆の種を蒔いて育て収穫する等、長期計画でのご奉仕となります。また、味付けにも会員のこだわりがあったようです。

編集後記



神明社屋台・20周年記念